

羽島郡広域連合 消防だより

第13号

発行日 / 2008年11月1日
発行所 / 羽島郡広域連合

携帯電話・IP電話 発信地表示システム起動



平成20年10月1日より「携帯電話・IP電話発信地表示システム」が運用開始となりました。このシステムの導入により発信位置がある程度特定することができるようになり、現場への到着時間を短縮することが可能となりました。なお、通報場所が表示されていない場合もありますので確認のため、指令係が住所（場所）確認を行います。固定電話と比較するとまだまだ正確ではありませんので、固定電話がある場合についてはそちらを優先して通報して下さいますようお願いいたします。

119番通報について

1. 何があったのか。
2. 住所（場所）はどこか。
3. どのような状況か。
4. 名前、電話番号。

指令係は、みなさんからの通報を受け状況を確認した上で、出動する車両を決定しています。通報時に、間違った情報があると必要とされている車両が出動しない状況になってしまいます。通報時は、落ち着いて確実に指令係の尋ねていることに答えてください。

また、184発信、非通知設定で通報されますと、電波の状態により途中で切れてしまった場合に再度こちらから確認することが不可能ですので、184発信や非通知設定での通報はしないようお願いいたします。

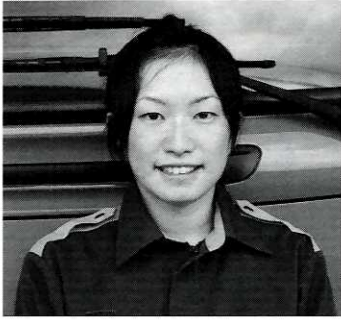
住宅用火災警報器を設置しましょう!

8/19 20 西消防署 職場体験

笠松町立下羽栗小学校

川瀬 日向子

この2日間の研修は、私にとってかけがえのないものとなり、大きな宝物となりました。消防署の方の仕事への誇り、自覚、責任感、そして何より町民や地域を思う気持ちに触れることができました。2日間という短い研修期間でしたが、消防署の方には大変お世話になり、実りのある体験をさせて頂けたことに感謝しています。体験の中で特に心に残ったことは、大きく2つあります。1つ目は、訓練に訓練を重ねることを大切にされているということです。今回、放水訓練や救助訓練を体験し、重い装置を持ちたり、装着したりして肉体的にも厳しい訓練を行いました。並大抵の体力ではできないし、何よりも精神力が必要だと実感しました。消防士の方は、二人でも多くの人を助けたいという確固たる信念のもと、訓練に励まれている姿に脱帽でした。2つ目は、消防署の方の団結力の強さです。上司、仲間を信頼し、絆を強めてみえました。私は全員で協力することの本質をみたと思えます。私のクラスの学級目標は、「絆」です。本物の「絆」とは体何なのかを子どもたちに伝え、子どもたちが互いに切磋琢磨し合いながら、団結してクラスの向上や、「絆」を深めていくことができるようにしたいとあらためて実感することができました。消防署の仕事…それは、人のために働く素晴らしい仕事です。私たち教師にも通ずるものを感じました。この体験研修で学んだことを私の糧にし、子どもたちのために歩み続けていく教師でありたいです。



仕事…それは、人のために働く素晴らしい仕事です。私たち教師にも通ずるものを感じました。この体験研修で学んだことを私の糧にし、子どもたちのために歩み続けていく教師でありたいです。

笠松町立松枝小学校

村瀬 ゆう子

8月19日から2日間、羽島郡教職員体験研修として西消防署で研修をさせて頂いた。

研修では、防火服を着て、さらに空気ボンベを担いで放水する放水訓練や、地面に水平に張った網を渡る渡過訓練、5メートル以上の垂直な壁を、ロープを使って登ったり降りたりする登はん降下訓練など、普段経験できないような訓練をさせて頂いた。どの訓練も強靱な体力、精神力のいる過酷な訓練だった。このような訓練を行うのは、緊急時の人命救助に備えるためであることを知った。そして、そのための基礎体力の向上に日々努めてみえることを知った。普段から訓練をすることによって、実際に事故が起きた時に適切な対応ができることを学んだ。教師も、あらゆる場面を想定して、適切に対応できるように訓練、研修の必要性を感じた。

また、署員の方々が消防士としてのスキルアップのための資格の取得に、常に努めてみえることを知った。消防のプロとして自覚し、地域の方々が安心して生活できるように、努力されていることに驚いた。研修を通して消防は、失敗が許されないからこそ、日々の訓練や、スキルアップのための学習がとても大切であることを学んだ。人の命を救い、その人の人生にも関わる消防士と同じように、教師は子ども達の人生に関わるとても重要な職業である。だからこそ、私も教師としての職務を自覚し、子ども達によりよい教育を提供できるように、日々自己研鑽に励み、教師としてのスキルアップに努めなければならぬと強く感じた。



研修を通して消防は、失敗が許されないからこそ、日々の訓練や、スキルアップのための学習がとても大切であることを学んだ。人の命を救い、その人の人生にも関わる消防士と同じように、教師は子ども達の人生に関わるとても重要な職業である。だからこそ、私も教師としての職務を自覚し、子ども達によりよい教育を提供できるように、日々自己研鑽に励み、教師としてのスキルアップに努めなければならぬと強く感じた。

新・起震車 について

岐阜県の地震体験車が新しく更新されました。

この新しい地震体験車は今までの車両で体験できた縦揺れ横揺れの他に、過去に起きた地震を再現することはもちろんのこと、将来おこると言われる「東海地震」「東南海地震」「東海・東南海・南海運動地震」などの想定地震を体験できるのが大きな特徴です。

また車両内にある大型モニターが揺れにあわせてリアルな映像を映し出し、今までにない迫力で地震体験ができます。



すでに各自治会の防災訓練に出勤しており、各種団体にも依頼があれば出勤可能です。使用希望の自治会、団体の方は最寄りの消防署までご相談ください。

※使用に関しては5ヶ月前の予約が必要です、また営利目的、個人での使用はできません。



岐阜県 警防技術 発表会開催

平成20年10月1日、各務原市にある岐阜県消防学校で平成20年度岐阜県警防技術発表会が盛大に執り行われました。

この警防技術発表会は、県内の各消防本部が救助活動、消火活動を発表し情報交換をすることにより、災害対応能力の向上を図ること、さらに大規模災害が発生した場合、迅速・確実な連携活動ができることを目的としています。

今回、羽島郡広域連合は消火系救助の部門に参加しました。



